



なきごえ



今春公開予定の新爬虫類舎

TENNOJI ZOO 80th ANNIVERSARY



天王寺動物園は開園80周年を迎えました。



鳥の楽園から
新チンパンジー・
オランウータン舎



南から全景

1995

1



大阪市
天王寺動物園協会



(撮影：吉本 昌俊)

2 — New Face ラマの赤ちゃん誕生 (吉本昌俊)

3 — 動物と私 動物園での思い出 (中川道朗)

カバーウォッチング 上から見た天王寺動物園

◇ 天王寺動物園開園80周年特集 ◇

4~7 天王寺公園と動物園の昔語り (中川哲男)

8 — グラフZOO 動物を通して見る80年 (竹田正人)

10 — キーパーズアイ (早川 篤)

11 — ZOO DIARY

カバーウォッチング

上から見た天王寺動物園
開園80周年の記念号の表紙は上から見た天王寺動物園で飾りました。わずか2.5haで開園した動物園も、現在では11haになりました。最近では緑も増え市民の憩いの場になっています。新しいチンパンジー・オランウータン舎や今春公開予定の新爬虫類舎も見えます。

(撮影：ブラック研究所)

||||| 動物と私 |||||

動物園での思い出

野 生動物を友として、今年で丁度、50年。敗戦、復員、卒業と、激動の年であった昭和20年の暮、私は天王寺動物園に就職しました。

戦争という暗黒の時代から、パツと明るい平和が訪れたのですが、世の中は、大変な食糧難の時代で、食べることで精一杯で、のんびり動物園へ遊びに行こうなどという人は皆無でした。

しかし、私は、動物園こそ平和な時代に最もふさわしい職場だと心に決めて、その未来に夢をかけたのです。

朝、出勤すると、解剖台の上には、動物たちの死体の山が折り重なっていました。全て餓死です。診療、治療より、先ずエサの確保に走り回りました。又、園内の復旧作業も大変でした。アシカのプールの底に突きささった無数の焼夷弾を一本一本引き抜いたことなどが、つい、昨日のことのように思い出されます。入園者ゼロという日もありました。

そんな惨めな動物園を一瞬にして吹き飛ばす明るい出来事が起りました。

昭和25年の春、タイからゾウがやってきたのです。この日、入園者6万人、その列が天王寺公園



中川道朗さん

(旧)大阪市天王寺動物園協会 副会長

の坂道まで、延々と続きました。これを契機に、ライオン、トラ、ヒョウ、チンパンジーたちが続々、入園し、彼らのうなり声が園内にこだまし、動物園は賑やかになり、可愛い二世たちも毎年誕生しました。

やがて、オリ式から放飼式へと園内大改造が始まり、毎年、10か所以上の動物舎が建設されましたが、心配した事故もなく、無事、動物たちを収容して元気に走り回る姿を見て、安堵の胸をなで下したものです。今でも園に行くたびに一つ一つの動物舎に、当時の苦労した思い出が懐しく甦がってきます。でも、たった一つ意外な出来事が起りました。

新 しく完成したカバ舎の寢室の天井のビニール板をカバが直立して破ったと云う知らせです。天井までの高さは、3m 50cmもあるのです。

絶対の自信があったのですが、あの大きな凶体をしたカバが周囲の鉄柵に足をかけ、立ち上って破ったと判りました。

野生動物たちの行動は、時として人間の想像をはるかに越えるものがあります。だから、動物園での仕事は、彼らとの苦闘の毎日だと云っても過言ではありません。

数 え切れないくらい多くの野生動物たちと暮し、その「ゆり篋から墓場まで」を共に過した思い出は、私の人生にとって何物にも替え難いすばらしい贈り物をくれたと感謝の気持で一杯です。

開園80周年を契機として、今後益々深まるアニマル・バンクとしての重要性をふまえ、21世紀に向け、新しいビジョンのもとに、新時代の幕明けにふさわしい動物園の誕生を切に期待していません。

(なかがわ みちろう)

← ラマの赤ちゃん誕生 ウシ目 ラクダ科

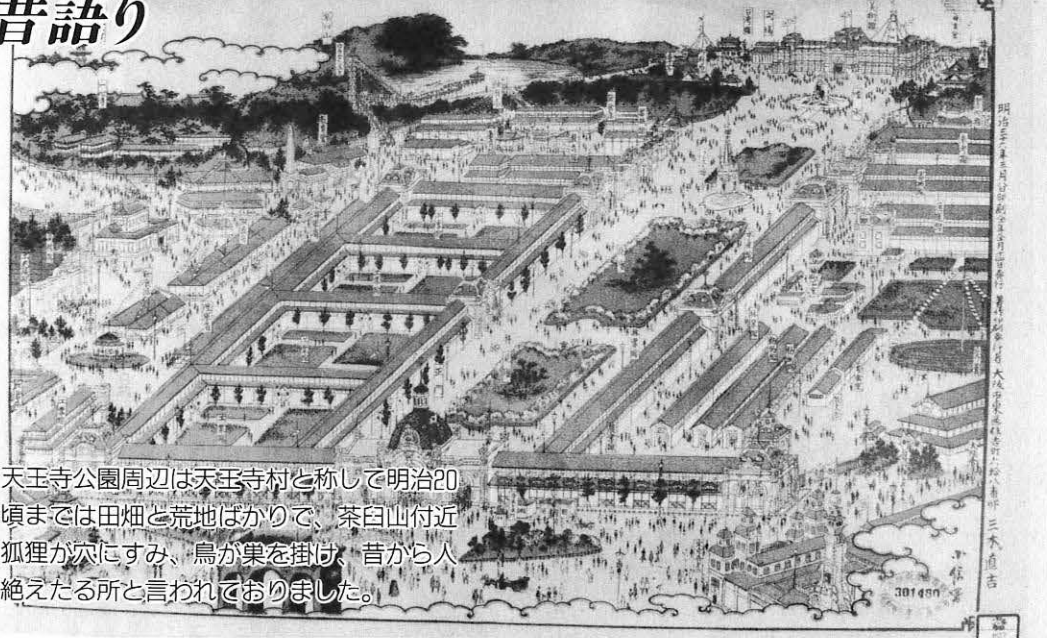
昨年の11月18日、ラマの赤ちゃんが誕生しました。母親は「リツ子」、4番目の子供です。名前は「チコ」と付けました。母親のおっぱいを飲んですくすく育っています。



天王寺公園と

動物園の博業勸国内回五第

昔語り



天王寺公園周辺は天王寺村と称して明治20年頃までは田畑と荒地ばかりで、茶臼山付近は狐狸が穴にすみ、鳥が巢を掛け、昔から人跡絶えたる所と言われておりました。

第5回国内勸業博覧会案内図

しかし、この地が町家の様相を徐々に表すようになるのは政府直営による第5回国内勸業博覧会がこの地で開催された後からで、いずれの府県でも博覧会、国体、アジア大会等、大きなイベントの前には膨大な予算で住宅、道路整備が行われるのは洋の東西、時代を問わないものです。さて、この博覧会は明治36年3月1日から7月31日までの5ヵ月間開催されました。4月20日には明治天皇が皇后と共に開会式に臨席され、その後23日から隔日に7回足を運ばれたとあります。博覧会場は東は阿倍野筋、南はJF環状線、西は堺筋、北は25号線で囲む96,736坪の広大な面積で、中には勸業館、美術館、参考館、教育館、工業館、農業館、動物館、余興動物園、全国各地の物産館、米國機械館、カナダ館等13か国の展示館、奏楽堂、噴水、飲食店、ウォーターシュート等娯楽施設があり、今で言う万国博に匹敵する国際的な博覧会で国の威信を掛けて行われました。



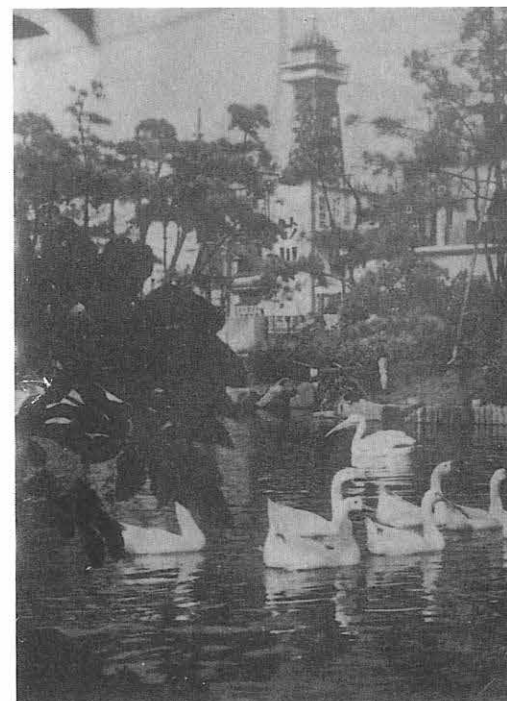
明治36年に建設された植物温室

天王寺公園：博覧会終了後、ほとんどの展示館は撤去されましたが、美術館、勸業館、参考館、奏楽堂、噴水等は市に引き継がれ、その後、市会で跡地の半分は公園に、後半は民間払い下げと決め、日露戦争後の明治42年10月15日に大阪で2番目の公園（1番目は中之島公園）として開設されました。開設当時の面積は東側の49,500坪で、明治45年には西側へ15,000坪拡張され、温室（植物温室は明治36年に建てられた日本で初めてのもの）や花壇を設けた西欧式公園として大阪第一の公園と言われておりました。その後、大正14年に住友家本邸跡、慶澤園、茶臼山の17,500坪を住友家から寄付を受け、河底池も買収して、現在では260,077㎡の面積があります。

慶澤園：明治28年に住友家が今の美術館付近を買収し別荘を建て、明治40年に入って敷地の南側と西側の公園との境に400間の板塀を巡らし、順次、本邸としての整備を図りました。庭園としての整備は大正4年にほぼ完成して慶澤園と称しました。

慶澤園は回遊式日本庭園で、木津半斎が設計し、京都の植治、小川治兵衛が監督施工しました。慶澤園の名称は当初、恵澤園と称され伏見宮貞愛親王が名付けたと言われています。慶澤園はその後、大正10年12月6日に本邸敷地、茶臼山、河底池を含めて公園、美術館建設用地として大阪市に寄付の申し出をされ、その時の条件として、1.公園として使用し、美術館を建設すること。2.茶臼山は現形を保持し、みだりに増殖、伐採しないこと。3.一部でも公園として使用しない場合は返還すること等、6項が寄付願に付され、池上市長宛提出されました。

初代の通天閣と動物園



茶臼山と河底池：茶臼山は前方後円墳で、古代の豪族の墓と考えられていますが、由来は不明です。形状は周囲が618mの小高い丘となっています。安土桃山後期、豊臣家と徳川家との大坂冬の陣で徳川家康がここに本陣をはり、また、夏の陣では焼け落ちた大坂城から千姫が家康の茶臼山本陣に投じたとあります。明治の頃、ここは陸軍省が所管していましたが、明治25年に男爵岩崎久弥が自分の所有する東京牛込区の土地が士官学校の練兵場となることから、代替地として茶臼山と交換し所有しました。その後、明治35年5月12日に岩崎男爵から住友左衛門に譲渡され、さらに大正10年12月6日に住友家から大阪市に寄付の申し出を行い、大正14年5月に住友家本邸が兵庫県住吉に移転したことにより全てが引き渡されました。河底池は延暦7年(788年)和氣清麻呂が河内川(今の平野川)を西へ開き大阪湾に流そうとして途中で断念した遺跡とされています。それが伺えるのは明治初期の地図で庚申池(庚申池があった)、悲田院町、河堀町、大道町にかけ川筋が見られます。

天王寺美術館：明治36年に国内勸業博覧会が開催され、会場内に美術館が建てられましたが、この建物は現在の公園内テーマ館温室あたりに位置しておりました。その後、美術館は大正8年12月に大正天皇御大典記念事業として市民博物館に模様替えされました。しかし、昭和7年3月31日には老朽化が著しいことから廃止となりました。現在の美術館の創設構想は大正9年4月に森林太郎帝室博物館長(森鷗外)を中心とする調査委員会が組織され建築設計、展示方針、展示品種別等が研究討議されました。その後建設用地の選択をすすめるなかで、大正10年12月に住友家から本邸敷地の寄付申し出を受け、大阪市では昭和3年1月17日に地鎮祭を行いました。しかし、建物は不況の煽りで漸く昭和11年4月に完成し、5月1日に落成式を挙行、公開されました。規模構造は鉄筋コンクリート地下1階地上3階、総工費145万円で、近代的な建物でした。しかしながら美術館として正常に運営されたのはその後5年ほどで、昭和16年10月には南半分が中部高射砲集団司令部(高射第3師団に改編)に接收され、防空指揮所となりました。戦後昭和20年10月には進駐軍に接收されましたが、接收解除になるのは昭和22年7月のことで、この年の11月になって漸く市民に開放されました。

新世界ルナパークと通天閣

第5回国内勸業博覧会后、民間に払い下げ予定の西半分跡地は博覧会を協賛した協賛会副会長の財界有力者土井通夫らが明治44年8月に借受け、今の動物園西に新世界を創設し、250余尺の通天閣並びに寄席、芝居、飲食街のルナパークと称する歓楽街を建設し、明治45年7月3日オープンしました。このルナパークは米国の歓楽街を、通天閣はエッフェル塔を模倣したと言われていいます。通天閣は八千燭光のライトとロープウェイが呼び物で新世界は大正から昭和にかけ隆盛を見ました。



古い歴史のある茶臼山と河底池



昭和初期の園内風景 猛獣舎・水禽池・中猛獣舎付近



大阪府立博物館から引き継がれた初代のソウ「団平」慰霊祭でのスナッフ

天王寺動物園：動物園の前身は明治8年11月本町橋詰町仮庁舎跡（西町奉行所跡）に開場した大阪博物館が明治17年に大阪府立博物館となり、併せて11月に動物檻が設置されました。博物館における動物展示は人気も高く、その後明治33年、35年と動物檻の面積が拡大されました。明治36年3月に天王寺公園一帯で第5回国勧業博覧会が開催されましたが、終了後の8月末に展示されていた余興動物園のライオン、ゾウ他7種の動物を購入しました。施設はその後36年、39年と拡充され大阪の名所となりましたが、明治42年7月の北の大火や動物の臭気、鳴き声或いは脱出の危険性等の理由で、船場の地には相応しくないと府議会で再三問題となり、ついに大正2年12月の府議会で移転を含めて大阪府に委譲する案が決定されました。これを受けて大正3年6月市会で「動物園設置に関する件」が可決され、急遽、内国勧業博覧会跡地に動物園を作ることになりました。動物園の設計にあたっては大阪府立農学校の飯島儀四郎が主任技師となって、9月からの4ヵ月の突貫工事で完成させました。

開園直前の大正3年12月24日の大阪毎日新聞を見ますと、「面積は八千坪だが、京都の一万余坪、東京の九千八百坪に次いで日本で3番目、しかし、動物舎の配置を林間の自然を損なわず、動物の生活状態を損なわず作り上げ、また、動物の研究機関を付随させたのは東京、京都以上で敬服に値する」と報じております。

大正3年12月26日の大阪朝日新聞では開園式の模様が報じられています。「12月26日午前11時より天王寺公会堂において池上市長の式辞、大久保府知事の説明、山口市会議長の答辞で開園式が挙行政され、正午に閉式し、式後、千賀技師の案内で園内を視察した」とあります。

ところで、当時の動物の引っ越しのエピソードを1つ紹介しましょう。附属動物檻に展示されていた2頭のゾウのうち市立動物園ではオスの「団平」を引き取ることにあり、大正3年10月15日の深夜、本町橋詰町の博物館から逢坂下之町の動物園東門まで1里弱の松屋町筋を10時間もかかって、なだめすかしつ、音頭をとりながら歩かせて運びました。ゾウが檻を出て新しい動物園に行く行程を身近に見られるとあって、深夜にもかかわらず大勢の人が見物に來たとあります。当時、松屋町筋は明治20年になって漸く北は天神橋筋池田町から逢坂下之町まで通じるようになりましたが、道幅は狭くて3間しかなく、当時、ゾウのいたずらを気遣いながら、或いは街灯

や看板を修理しながら移動作業をした光景が目の当たりに浮かびます。因みに松屋町筋が現在の幅員25m前後に拡幅されたのは昭和13年7月のことです。

室戸台風の頃：昭和9年9月21日に四国から大阪を襲った台風は死者1,624名、負傷者3,895名、行方不明229名、建物倒壊流失23,640戸の未曾有の被害を大阪に持たしました。当時は木造建築が多く、小学校、中学校、女学校、神社仏閣の倒壊が多く、学童生徒の死傷が数千人に達しました。動物園では隣接する天王寺公会堂や四天王寺の五重の塔が倒壊し、園内では駝鳥舎、水禽放養舎等が倒壊しました。被害の修復整備のため、翌21日から24日まで閉園したと9月24日付けの大阪朝日新聞は伝えております。

戦時下：昭和17年4月に米軍による本土空襲が初めてありましたが、被害はありませんでした。しかし、非常時の万一を考え上野動物園をはじめ天王寺動物園でも危険動物を1級、2級、3級と種別し、非常体制の段階に応じて処分の方法、時期を定めていました。昭和18年当時は空襲もなく動物園への被害はありませんでしたが、8月16日に東京都長官大達茂雄により上野動物園に対し「動物園非常措置要綱」の執行命令が出され、17日より危険動物の殺処分が始まりました。この東京都長官大達茂雄の命令の意図するところは戦局の非勢と空襲の必至を猛獣処分の形でアピールし、都民の覚悟と体制の強化を狙ったものでした。天王寺動物園では敵機が来襲し危険になった段階で猛獣を射殺することにしていたが、9月3日に新聞で上野動物園の動物処分が伝えられるや坂間市長、田坂市民局長等幹部が緊急に会議を開き、危険動物の殺処分を決定しました。天王寺動物園では翌9月4日から処分をはじめ、翌19年3月15日に10種26頭の処分を終了しました。昭和18年9月4日付けの毎日新聞を見ても坂間市長の談話で、内務省等から別段指示を受けていないが、上野動物園のように猛獣を処分しておけば市民も安心して生活できるし、時節から金属の供出や食糧費の節約が出来ると伝えており、また、朝日新聞9月4日付けでは3日に大阪市は寺内團長に猛獣殺処分の命令を下したとあります。そして9月5日の毎日新聞によれば猛獣処分に先立って、4日元気な姿を後世に伝えたいと猛獣の記念撮影をしたとあります。

大阪大空襲：昭和20年3月13日の空襲以来、6月7日、6月15日、6月26日と空襲がありましたが、報道統制もあつたのか当時の新聞からは動物園の被害を見つけることはできません。

ジェーン台風：昭和25年9月3日神戸大阪を襲ったジェーン台風の動物園での被害は樹木が200本余り倒伏し、セキセイインコ舎、ウサギ舎、ヤギ舎等が倒壊して、セキセイインコが100羽、ウサギ、ヤギ、東天紅、イカルが多数脱出しました。また、ゾウ舎では暴風雨を防ぐため降ろしたシャッターが曲がって上がらなくなり9月5日になってもゾウは暗い室内に閉じ込められたままでした。脱出したインコはその後4日5日と舞い戻り、現在30羽を収容しました、と9月6日付けの朝日新聞は当時の様子を伝えております。

動物園の改造計画：昭和36年からの9ヵ年計画で動物園の古い動物舎は一掃され、今までの檻形式から檻のない広い無柵放養形式を主とする展示に変換し、また、同じ形態、機能を持った系統の似た動物を集約、展示するよう努めてきました。この結果、学習効果も高く、作業面でも効果を十分に発揮しました。しかし、これらの動物舎も20数年を経過した昭和60年代から、より生息環境に近い展示へと方針を改め、ガラス式展示や擬木擬岩を多用した展示へ、また、生息環境を再現するバイオーム展示へと移行し、主になる動物だけでなく、それと連携、連鎖する動物、植物を複合展示するよう

になりました。その例がヒョウウ舎、鳥の楽園、チンパンジー・オランウータン舎であり、今年3月オープンする新爬虫類館に見られます。

これからの動物園の考え方に対してはIUCN（国際自然保護連合）が世界環境保全戦略のなかで「動物園や水族館が科学的な飼育基準に基づく良好な飼育管理と計画的な増殖によって種保存や遺伝子の多様性の保存に貢献でき、また、丹念な教育計画に基づく展示からその展示種が生態系で果たす役割が理解できる環境教育の面でも貢献できる」と勧告しています。このことから今後、天王寺動物園でもこの概念に基づき素晴らしい、愛される動物園にしていきたいと考えています。

（飼育課 中川 哲男）

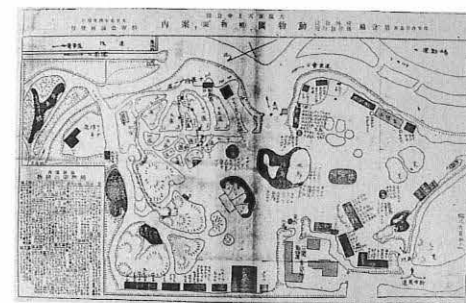


平成6年4月の園内 動物園、美術館、公園の一望

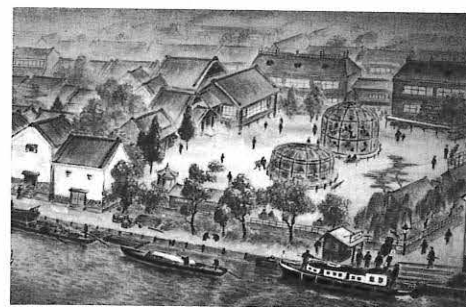


昭和36年からの動物園改造9ヶ年計画で昭和38年に新装オープンしたライオン舎

天王寺公園と動物園の昔語り



大正7年当時の園内図



動物園の前身 大阪府立博物館付属動物檻の風景図

参考文献：

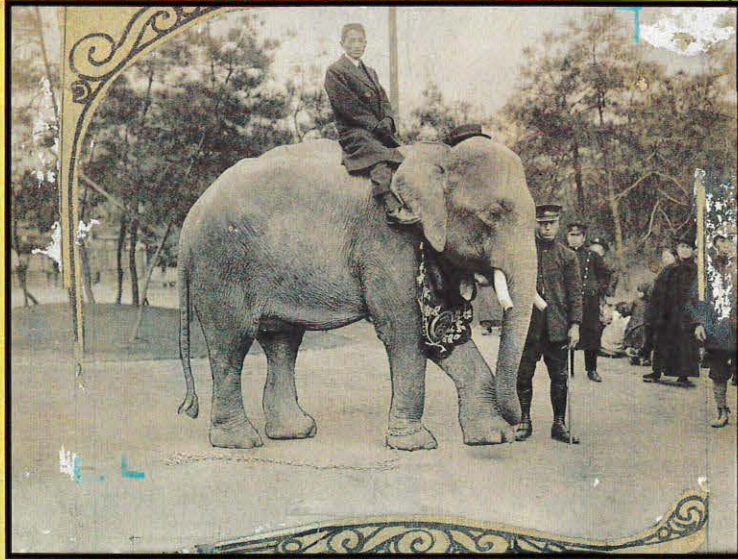
- 新修大阪市史 5、7、8巻
- 天王寺区史 天王寺区役所
- 天王寺区 50年のあゆみ 天王寺区役所
- わがまち天王寺 天王寺区役所
- 浪速区史 浪速区役所
- 大阪大空襲「大阪が壊滅した日」小山仁示 実記大阪の百年 読売新聞大阪本社社会部
- 朝日新聞100年の重要紙面
- 暮らして物価大阪百話（財）大阪都市協会
- 上野動物園百年史
- 大阪市天王寺動物園70年史
- 朝日新聞
- 毎日新聞

動物園之写真本 動物通をしてみよ十八年

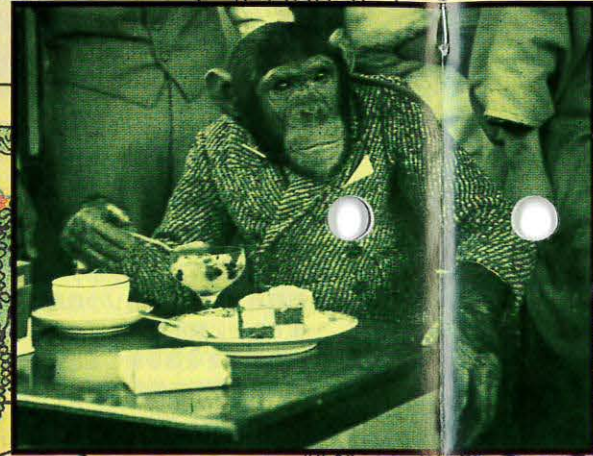
俯瞰圖

天王寺動物園は大正四年(一九一五年)に開園し、今年で八〇周年を迎えます。そこで今回はその時代時代て人気を博した動物たちを紹介いたします。

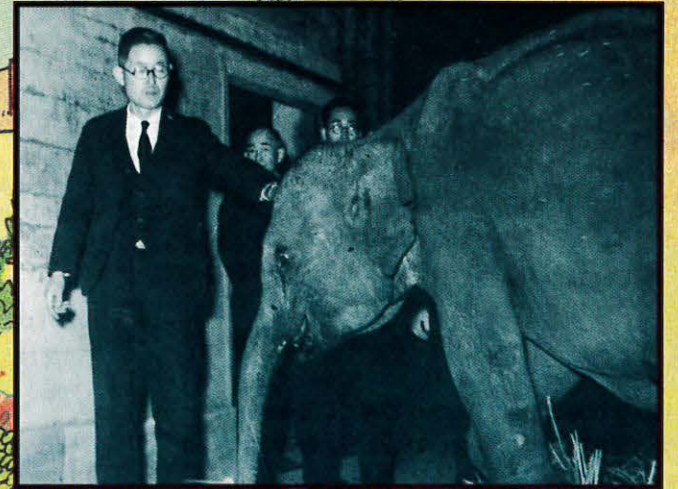
(構成：竹田正人)



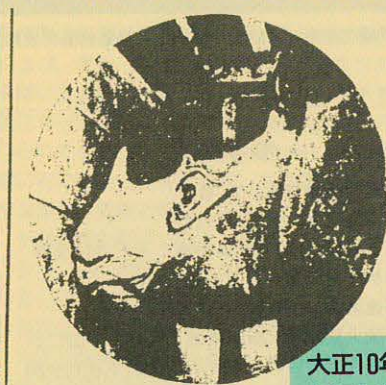
大正4年の開園時に、大阪府から移管されたゾウの“団平”です。背中に乗っているのは初代園長の林佐市です。



昭和7年に入園したチンパンジーの“リタ”は、テーブルマナーや自転車乗りなどその芸達者ぶりで人気を集めました。



敗戦後、動物がほとんどいなくなった動物園に活気を取り戻したのは、昭和25年にタイから来園した アジアゾウの“春子”です。彼女は今も元気で、当園の最長老動物です。(左は寺内園長)

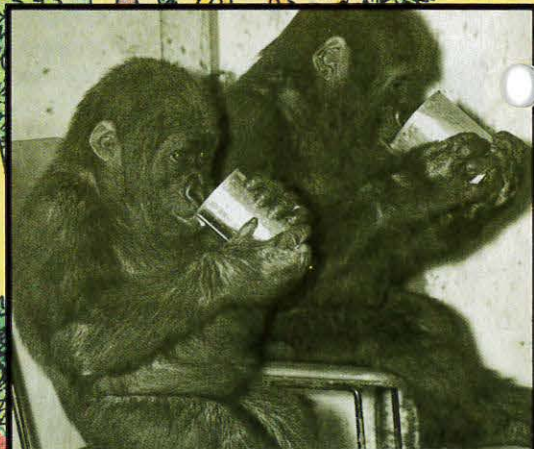


上野の大山科は、大山山科の属に属する。二十一日、動物園に到着した。

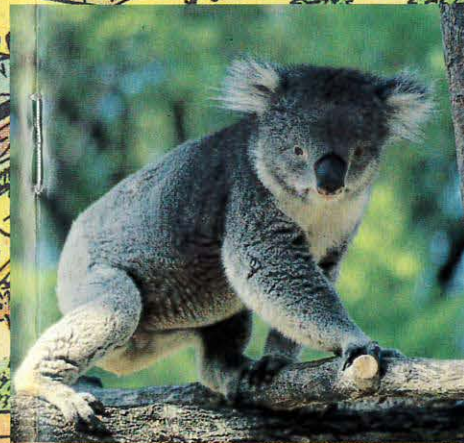
大正10年の大阪朝日新聞に掲載されたスマトラサイ入園の記事です。飼育例の少ない希少動物で、日本に入ったのはこれが最初で最後です。

サイ君の来園

天王寺公園の大阪朝日新聞が、スマトラサイの来園を報じた。サイ君は、スマトラ半島のジャングルに生息する。体長は約2メートル、体重は約1トン。飼育には、バナナやリンゴ、サトウキビなどを与える。サイ君は、入園後、非常に人気を博した。特に、子供たちから愛された。サイ君は、大正10年に大阪朝日新聞に掲載された記事で、日本に入ったのはこれが最初で最後です。

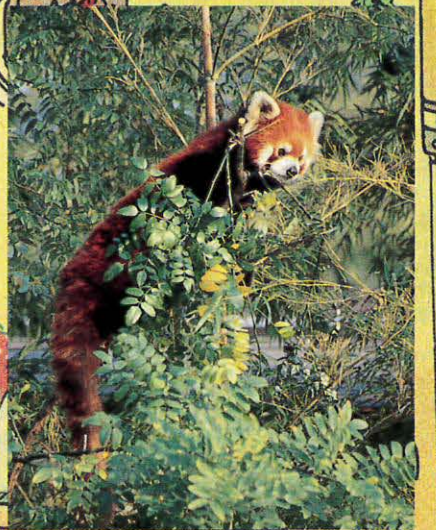


昭和36年と42年にはローランドゴリラが入園しています。完成したばかりのゴリラ舎には強化ガラスが使用され、間近で見られるゴリラは大変な人気者になりました。



平成元年には、大阪の子供たちの夢であったコアラが3頭オーストラリアのメルボルン動物園から贈られてきました。

コアラが来園した同じ年、第7次の上海市との動物交流としてレッサーパンダが来園しています。



キーパーズ アイ

動き出したらコワイで

11月号の獣医室からでもお伝えしたように、ゴリラのオス“ゴロ”の健康診断がありました。

飼育係も投薬や運搬に協力したのですが、作業中ずっと頭の中にあっただのは「ホンマに麻酔は効いてるのかな？」ということでした。言っときますけど、別にうちの獣医を信用していないとかじゃないですよ。

みなさんは麻酔にかかって寝ている動物が、どういふ状態か存じないでしょう。時々ピクピク動くんですよ、これが。

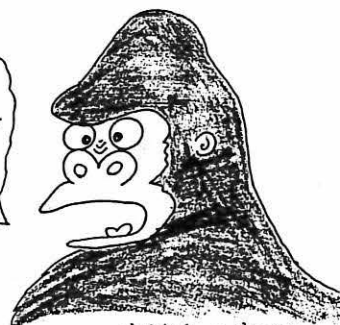
小動物なら「ゲホッ」とかせき込んだりしてもいいけど、これがゴリラともなれば、ちょっと気持ち悪いっていうのもわかるでしょう。

「ちょっと効きが悪いな。まあいけるかな。」などとつぶやく獣医の横で「もし動き出したら、あの扉から逃げような。」と同僚らとボソボソと相談しつつも作業は無事に終了し、とりあえずホッと一息。

でも、一番不安だったのは麻酔をかけられた“ゴロ”だったのかもしれないね。

(飼育課：早川 篤)

オラは死後の世界から帰ってきた。川の向こうで、みゆが今とふい、こんだ。行こうとしたら空から声かしてカズン、カンズン……



麻酔後の心境を語ったゴロ氏

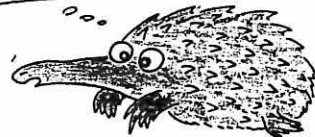
ハリと絶滅に瀕した動物たち

夜行性動物舎のなかに、ハリモグラがいます。でも、どうやら昼の方が活発に動いているようです。室内は昼夜が逆転していて、展示中は真っ暗だから、ほとんど動きません。そこであまりにも動かないので、せめてもの入園者サービスをと、抜けた「ハリ」を展示することにしました。手でふれ、その感触を楽しんでもらおうというわけです。

でも、意図とは正反対。最初は、きれいに10本ほど並べてテープで貼っていたのですが、すぐに取りられてしまいます。「ハリ」は、よく抜けるので在庫(?)が無くなる心配はないのですが、ちょっとムツときます。

「触ってもいいけど、とらないでね。」と書いたけど、全然効果はありません。その日も、朝に10本貼ったばかりなのに、夕方には1本しか残っていません。頭にきたから、そのままにしておきました。ナント!! 週間たってもその1本は、そのまま残っているではありませんか。

わたし、タマゴを産むけどおちちも出すのよ。



「たくさんあるなら、1本くらい。」と軽い気持ちで取っていくのでしょう。そして、「1本しかないから大切にしましょう。」その気持ちも、よくわかるような気がします。だから、今はわざと2〜3本しか貼っていません。これってハリだから、「そんなもんかな。」と思うだけですが、よく考えたら絶滅の危機にある「トキ」や「ニホンコウノトリ」など野生動物と日本人の関係と同じような気がしてゾッとしてしまいました。…考えすぎかしらん。

(飼育課：早川 篤)

11月1日 ホッキョクグマのオス“ユキオ”の健康診断をしました。麻酔をかけて約1時間、レントゲンや血液などの検査を行いました。



11/2. 保護・治療していたオオミズナギドリなど3種4羽の野鳥たちが元気になったので、自然復帰させました。

11/3. シロハラとシメを1羽ずつ保護しました。

11/4. ツミを1羽保護しました。ニジキジのメスの嘴が伸びたので切りました。

11/5. オオミズナギドリ3羽とホトトギス1羽を保護しました。

11/7. オオミズナギドリ2羽とキジバト1羽を保護しました。

11月8日 オオミズナギドリ4羽とウミネコ、ホシハジロ各1羽を保護しました。ウミネコは釣



用のルアーを餌とまちがってくわえてケガをしたもので、すぐ治療をしましたが、衰弱がひどく残念ながら死亡しました。

11/9. ツグミを1羽保護しました。ミドリニシキヘビにヘビ特有のダニが寄生していたので治療しました。

11/12. 第1回ZOOセミナーを開催し「動物の行動とは」と題してお話をしました。参加者は前もって募集したもので、54名の方々が参加されました。

11/13. カムリカイツブリを1羽保護しました。

11月14日 動物交換で愛媛県立とベ動物園へ送るガビアルモドキの捕獲を行いました。このワニは昭和48年に来園し21年間飼育していたもので、体重は121kgありました。



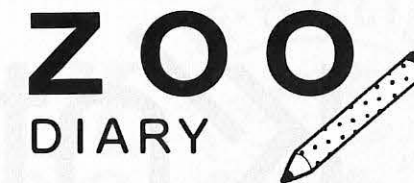
11/15. オオミズナギドリを1羽保護しました。

11/16. キジバトを1羽保護しました。

11/18. ラマの赤ちゃんが1頭生まれました。性別はメスでした。

11/19. 第2回ZOOセミナーで「コアラの親子行動」のお話をしました。

今月もおもしろ情報満載



11/20. 動物園のおじさんのお話で「はてな大集合 PART II」というタイトルで楽しいクイズをレクチャールームで行いました。

11月21日 昨年2月に生まれたメスのエランド1頭と6月にふ化したレア3羽を、和歌山県の白浜アドベンチャーワールドに送りました。



11月21日 昨年8月21日に生れたフクロテナガザルの赤ちゃんに、生後92日目にあたるこの日から離乳食としてペビーフードを与え始めました。



11/23. 保護・治療していたシロハラなど7種9羽の野鳥たちが元気になったので、自然復帰させました。

キジ舎のキジの仲間に伝染病を予防するためワクチンを接種しました。

11/25. フルマカモメとアオバトを1羽ずつ保護しました。

11/26. 第3回ZOOセミナーで「動物園に観る野鳥」のお話をしました。

11/27. 鳥の楽園(バードケージ)でハワイガンが卵を抱き始めました。ドバトを1羽保護しました。

11/28. 気温が低くなってきたのでキリン舎の暖房を始めました。

お知らせ

●動物園のおじさんのお話
バードウォッチング
日時：2月19日(日) 午後1時～
場所：鳥の楽園

愛ある暮らし、応援します。

Kintetsu

近鉄百貨店

DEAR LIFE BOOKS



生態・飼育・図鑑が一つの本の 中にギッシリ

中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価680円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間は？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

くらしとかいかたシリーズ<既刊本>
B5変型判・オールカラー・各定価680円

むしくらしとかいかた

野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしとかいかた

昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 ひかりのくに株式会社 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表



マスターのポップコーン



〈営業品目〉 製造機械・保温機 他
生コーン・袋詰ポップコーン・原材料一式

(株)増田食品 〒561 大阪府豊中市穂積1-10-30
TEL (06) 865-0165

新・きれいな色
FUJICOLOR
SUPER G ACE
400



カマウの大林

桜橋本店 ☎341-8091
阪急三番街店 ☎372-5031

動物の生態を描く唯一の文学雑誌

動物文学

昭和九年平岩米吉によって創刊

本誌は生態研究を基礎として動物文献を収集整理する
とともに、シートン、ザルテン、バイコフ等の諸作家
を紹介した本邦動物文学の母胎です。

〈研究・考証・記録・随筆・翻訳等を掲載〉
会費/年1,500円(切手72円・呈既刊号目次)

動物文学会

〒152 東京都目黒区自由が丘3-12-2 電話03(3717)1659・振替・東京5-9800

新作
貸出用ビデオ「楽しい天王寺動物園」
19分(10本常備)

- 対象/保育園・幼稚園・小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸出料/無料(但し郵送料510円は必要)
- 申込先/当協会まで手紙かハガキでお申込下さい。

コアラテレホンカード(限定販売)
好評発売中 ¥800(50度用)

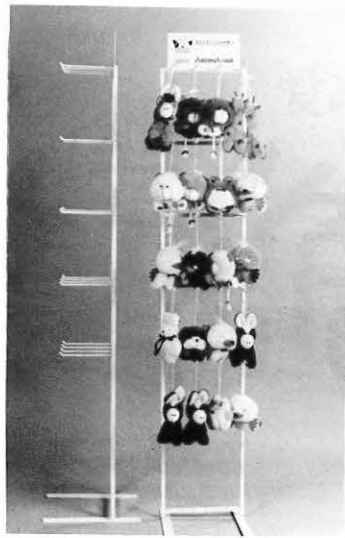
天王寺動物園の本
入園の記念・手引に……



オールカラー

500円 園内売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会 〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

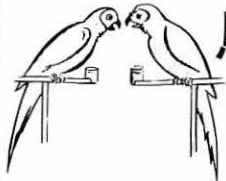


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

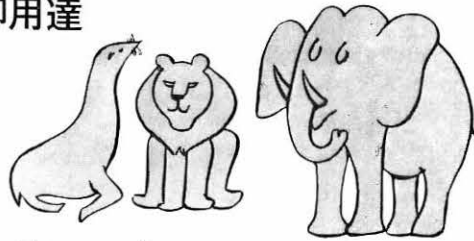
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

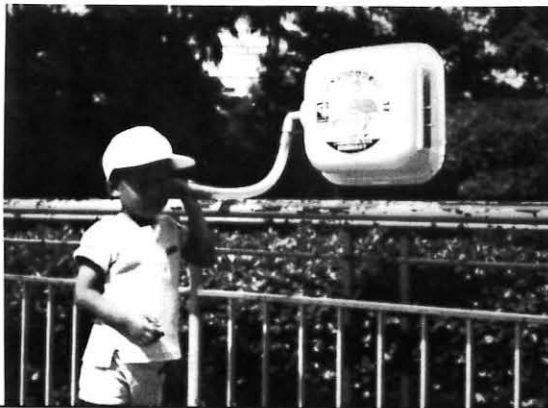
- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの) 要郵便券250円



有限会社 吉川商会

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号 電話(078)221-8195(代)
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

たのしい動物のお話は、 ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数ヶ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内での お食事、 ご休憩は

動物園内.....

中央売店

TEL 06-771-0973



お食事・飲み物・おみやげ 動物園内 南園売店 TEL 06-771-7110



思いやり、ほんの少し、コアラのために。



多くの思いやりが、ひとつになって、オーストラリア・コアラ基金を応援します。

多くの人に支えられて育ってきたコアラのマーチ。

一方、コアラのふるさとオーストラリアでは、シドニー近郊の山火事などにより、コアラたちの安住の地が年々少なくなってきています。

そこで、ロッテでは、コアラのマーチ誕生10年を記念するキャンペーンを実施するとともに、

コアラを取りまく環境を守ろうと、オーストラリア・コアラ基金(1986年設立)のゴールドスポンサーになりました。

コアラのマーチを支えてくれる皆様の思いやりがひとつになって、オーストラリア・コアラ基金を応援いたします。

LOTTE



雪印

Our Yogurt has fruity
and rich texture!!



新発売

いほりたてミルクのおいさが、生きている。

雪印 オガル

希望小売価格 130g/各120円 250g/各220円(税別)



“生イキヨーグル”と
覚えてね。

HIJIRI-KOJIMA

一日
愉快地
たのしめる!!



◎園内3ヶ所(南園高架下・北園中央デッキ北側・北園高架下)に各種のりものがあります。

久竹娛樂株式会社
TEL(06)541-3938(代)

なきごえ 1995年1月10日発行(毎月10日発行)第31巻 第1号(通巻353号)

編集/大阪市天王寺動物園事務所

発行人/大阪市天王寺動物園協会 土井良彦

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価150円(送料共) 1年継続(12部) 1,650円(送料共)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06)771-0201

振替口座 00930-2-37823

編集委員

(中山良三郎/岩倉善樹/増野悦敏/樽本 勲/中川哲男/山根和弘/吉本昌俊/谷森 進/宮下 実/長瀬健二郎/榎原安昭)
(森本委利/中上正幸/堀内智生/小林崇宏/竹田正人/大野尊信/野口秀高/早川 篤/土谷正道/村上勇一/仁田原洋)